

ニホンジカブロック別地域捕獲戦略の策定について

1. 捕獲強化の取組み

ニホンジカの増加は、農林業や生態系にさらに激甚な被害をもたらすおそれがあることから、環境省及び農林水産省において、平成 25 年 12 月に「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」をとりまとめ、ニホンジカ及びイノシシの当面の捕獲目標として生息数を 10 年後（平成 35 年度）までに生息数の半減を目標に掲げ捕獲の強化を進めることとした。

環境省では平成 26 年に鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律から、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（以下「鳥獣保護管理法」という。）への改正を行い、個体数調整を積極的に推進するため、ニホンジカ及びイノシシを指定管理鳥獣に指定するとともに、都道府県等が捕獲を行う指定管理鳥獣捕獲等事業（以下「指定管理事業」という。）を導入し、交付金事業による支援を開始してきたところである。

2. ニホンジカの生息数等の動向

環境省が平成 29 年度に実施した、平成 27 年度末のニホンジカ（北海道を除く）の個体数推計において、推定生息数は減少傾向に転じた可能性があることが確認された。しかしながら、平成 27 年度のニホンジカの捕獲数については、速報値で前年度より減少していることが確認され、ニホンジカの生息数の半減目標の達成に向けて必要な捕獲数は以前不足している。

都道府県別の傾向においても、第 12 次鳥獣保護管理事業計画期間における最新の第二種特定鳥獣管理計画（以下、「特定計画」という。）では、前期（第 11 次期間）計画に比して、生息数の増加傾向を示す計画の割合は減少し、横ばい、減少傾向を示した計画の割合が増加し、個体数の増加に歯止めがかかった地域も見られた。しかしながら依然、約 5 割の都道府県の特定計画では生息数増加傾向を示している状態であり、継続してさらなる捕獲強化が望まれる状況にある。

3. 地域捕獲戦略の作成に向けた検討

さらなる捕獲強化に向けた取組みを進める必要があること、平成 30 年度が「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」の中間見直しの期間にあたることから、環境省では、本州以南の地域を 6 ブロックに分け、ブロック毎に実施されているニホンジカ捕獲強化策の現状と課題の把握と、今後実施すべき方策をとりまとめたブロック別地域捕獲戦略を策定することとし、平成 29 年 10 月より検討を開始した。これまでに 1 回の専門家会議、ブロック毎に 2 回のブロック別検討会を実施した。（検討の経過、各ブロックの構成は P3～）

4. 地域捕獲戦略のねらい

地域捕獲戦略は、特定計画や鳥獣関係統計等を元に把握できる各都道府県のニホンジカ対策の現況より、課題を抽出し、全国レベル、ブロック別レベルで対応方策を検討することで、改めて都道府県、市町村といった階層別の捕獲強化策をさらに具現化させていくために策定するものである。

今後、継続してさらなる捕獲強化を進めるにあたって、第二種特定鳥獣管理計画（以下、「特定計画」という。）やその実施計画等で、ニホンジカの生息状況や生息環境、被害状況や被害防除対策の実施状況、捕獲体制や捕獲活動の状況等の地域性を考慮した計画を立案し、捕獲の担い手の育成、捕獲体制の構築・捕獲主体間の調整を進めつつ、登録狩猟、許可捕獲（被害防止目的の捕獲、数の調整目的の捕獲）、指定管理鳥獣捕獲等事業の当該地域における連携を図り対策を実施することにより、一層の有効な捕獲強化策を推進することが期待される。また、単独都道府県では解決出来ない捕獲推進上の課題に関して、取組み事例や調査データの共有等により、効率的な対応が可能となることが期待される。

5. 捕獲強化戦略の構成

ブロック別捕獲強化戦略は、「1. 目的」、「2. 現況」、「3. 課題」、「4. 課題の対応の方向性、方策案」の項目で構成する。

「1. 目的」では、地域捕獲戦略策定の背景、地域捕獲戦略に期待されていること、地域捕獲戦略の概略に関する内容を記載する。

「2. 現況」では、鳥獣関係統計等各種統計資料、第12次鳥獣保護管理事業計画期間の第二種特定鳥獣管理計画に掲載された各都道府県の現況情報等から、ニホンジカの保護・管理の現状を整理し、全国的な現況と、該当ブロックの現況を記載する。

「3. 課題」では、「2. 現況」と各会議での検討内容を踏まえ、捕獲強化に向けた課題について、全国共通と、該当ブロックについて記載する。

「4. 課題の対応の方向性、方策案」では、「3. 課題」に対応する項目について、各会議での検討内容を踏まえ、全国共通と、該当ブロックについての方策案を記載する。記載する方策には、平成30年度に実施予定の内容や平成31年度以降検討予定の内容のほか、予定は決まっていないが該当ブロックにて行うべき方策についても記載する。

ニホンジカ捕獲強化策検討専門家会議
および
ブロック別捕獲強化方策検討会の検討経過について

1. 各ブロックの構成

ブロック	該当都府県
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県
中部	富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿中国	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

2. これまでの会議等の実施状況

2017年10月

■ ニホンジカ捕獲強化策検討専門家会議（第1回）

●議事

- (1) 現況把握と課題抽出のための資料作成について
- (2) ブロック別の課題と対応の整理について

●概要

- ・ 今年度の会議の主旨等について共通認識を得た。
- ・ 主に第二種特定鳥獣管理計画を検討材料として、ニホンジカ捕獲強化に関する現状と課題について、ブロック別に整理検討を行った。

■ ニホンジカの第二種特定鳥獣管理計画の捕獲強化に関する実態等についての都道府県アンケート調査を実施

2017年11月

■ ブロック別捕獲強化方策検討会（第1回）

ブロックごとに開催（計6回）

●議事

- (1) 特定計画及びニホンジカ管理における現況と課題の抽出
- (2) 都道府県からの報告
- (3) 地域捕獲戦略策定に向けたブロック別の対応の整理について

●概要

- ・ 今年度の会議の主旨および地域捕獲戦略の目的等について共通認識を得た
- ・ ニホンジカ管理における現況と課題について共通認識を得た
- ・ 捕獲強化推進上の重要項目について、参加都道府県から報告頂いた
- ・ ブロック別捕獲強化方策検討会（第 2 回）に向けた作業依頼（来年度以降の取り組みに関する検討状況についての情報収集）

2017 年 12 月

■ ブロック別捕獲強化方策検討会（第 1 回）

ブロックごとに開催（計 6 回）

●議事

- (1) 課題解決に向けた事業項目等について
- (2) 地域捕獲戦略骨子案について

●概要

- ・ 地域捕獲戦略の骨子について共通認識を得た
- ・ 来年度以降の取り組みに関する検討状況について、参加都道府県から報告頂いた

2017 年 1 月

■ 地域捕獲戦略（素案）に対する地方環境事務所・都道府県への照会（意見聴取：第 1 回）を実施

■ ニホンジカ捕獲強化策検討専門家会議（第 2 回）

3. 今後の予定

2017 年 2 月

■ 地域捕獲戦略（原案）に対する地方環境事務所・都道府県への照会（意見聴取：第 2 回）を実施

2017 年 3 月

■ 地域捕獲戦略の確定、公表